

平成20年2月5日

岡山地区化学工学懇話会会員各位

岡山地区化学工学懇話会
会長 福田 典良

「バイオリクター・バイオエタノール講演会」開催のご案内

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、岡山地区化学工学懇話会では、「バイオリクター・バイオエタノール講演会・交流会」を下記のとおり開催します。

折角の機会ですので、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加下さい。

記

日 時 平成20年3月7日(金) 13:00 ~ 19:00

会 場 倉敷アイビースクエア「オパール」 交流会は「コーラル」
(〒710-0054 倉敷市本町7-2 TEL 086-422-0011)
<http://www.ivysquare.co.jp/>

プログラム 別紙をご覧ください。

参加費 講演会 無料。
交流会 会員2,000円：会員外関係者5,000円(当日徴収します。)

主催 化学工学会中国四国支部、岡山地区化学工学懇話会

申込み 出席連絡票を2月28日(木)までに、下記出欠連絡票に明記の上、FAX、E-mail等で事務局宛お送り下さい。

事務局 岡山地区化学工学懇話会事務局
財団法人岡山県産業振興財団(担当者：間宮)
〒701-4221 岡山市芳賀5301
TEL 086-286-9700 FAX 086-286-9676 E-mail mtsugeno@optic.or.jp

岡山地区化学工学懇話会「バイオリクター・バイオエタノール講演会」出席連絡票

事務局:(財)岡山県産業振興財団(担当:間宮)御中

返送期限 2月28日(木)

団体・個人名		
連絡先	TEL: E-mail:	
出席者氏名	講演会	交流会
	出席・欠席	出席・欠席
	出席・欠席	出席・欠席
	出席・欠席	出席・欠席

プログラム

バイオリアクター・バイオエタノール講演会 13:00~17:30

【講演1】 13:05~14:05

「酵素バイオリアクター - ユニークな酵素と生物反応工学 -」

岡山大学大学院自然科学研究科 教授 中西 一弘 氏

本稿では酵素を用いたバイオリアクターの構築に焦点を絞って話題提供する。
特に、演者らがこれまでに取り扱ってきたユニークな酵素の特性及び非水系反応の反応工学的
取り扱いについて、いくつかの事例を挙げて紹介する。

【講演2】 14:10~15:10

「バイオ燃料の高効率生産を目指した統合バイオプロセスの開発」

神戸大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授 近藤 昭彦 氏

セルロースバイオ燃料生産を実現するため、シンプルな物理化学的前処理と、スーパー微生物
(バイオマスの糖化酵素群を生産するとともに、多様な糖の高収率変換を行える微生物)
を組み合わせた高効率発酵プロセスの開発について紹介する。

~~~~~ 休憩(15:10~15:25) ~~~~~

【講演3】 15:25~16:25

#### 「産業界におけるバイオマス利用への期待と課題」

株式会社豊田中央研究所

材料分野 バイオ研究室 室長(主席研究員) 高橋 治雄 氏

食糧と競合しない廃棄系バイオマス資源を用いてエネルギーや化成品等を生産するバイオリ  
ファイナリーの構築は自動車を含む産業界にとっても温室効果ガス削減の観点から魅力  
的である。これらに対する課題と対応策を中心に概説する。

【講演4】 16:30~17:30

#### 「バイオマス残さを用いたバイオエネルギー変換の試み」

##### - バイオマスタウン地域連携の事例 -

大阪大学大学院工学研究科

精密科学 応用物理学専攻 教授 民谷 栄一 氏

食品残さや剪定枝などの未利用バイオマスからバイオエタノールおよびバイオ水素などを産生す  
るバイオエネルギー変換システムに関する成果を報告する。  
特に、バイオマスニッポン戦略にもとづいて策定されたバイオマスタウン構想とも連携して石川  
県加賀市で進行中の事例を中心に紹介する。

### 交流会 17:45~19:00

講師を囲んでの交流のひとときをどうぞ。

飲酒をされる方は、お車の運転はご遠慮下さい。